

News Release

<報道関係各位>

ピジョン株式会社
2018年7月19日

60年以上にわたる赤ちゃんの哺乳研究から生まれた“赤ちゃんこちリズム”搭載！
さく乳器「母乳アシスト®」シリーズが全面リニューアル
～新登場の専用アプリ「Pigeon Switch（ピジョン スイッチ）」で母乳育児をサポート～
2018年8月20日（月）全国発売開始

ピジョン株式会社（本社：東京、社長：山下 茂）は、母乳で育てたいママをサポートするさく乳器「母乳アシスト®」シリーズを全面リニューアル。両胸を同時にさく乳できる「母乳アシスト®電動Pro Personal +」^{プロ パーソナルプラス}を新たに加え、計4商品を2018年8月20日（月）より全国で新発売します。

さらに、さく乳機能がカスタマイズできる専用アプリ「Pigeon Switch（ピジョン スイッチ）」を日本で初めて開発しました。Bluetooth®を使って様々な吸引リズムをさく乳器本体に転送できるほか、授乳・さく乳などの記録管理もできます。



さく乳器 母乳アシスト®
電動 Pro Personal
Renewal



さく乳器 母乳アシスト®
電動 Pro Personal +
New



さく乳器 母乳アシスト®
電動 Handy Fit
Renewal



さく乳器 母乳アシスト®
手動
Renewal

今回のさく乳器「母乳アシスト®」シリーズには、長年の赤ちゃんの哺乳研究から開発した“赤ちゃんこちリズム”を新たな機能として搭載しました。この“赤ちゃんこちリズム”は、従来の一定型吸引リズムのさく乳ではなく、赤ちゃんがママのおっぱいを飲んでいるときのような自然なリズムを再現し、ママがより心地よくさく乳出来るようになります。

さらに、新しく開発した専用アプリ「Pigeon Switch（ピジョン スイッチ）」では、Bluetooth®で「母乳アシスト®電動Pro Personal/母乳アシスト®電動Pro Personal+」と連動することで、アプリからのみ転送できる吸引リズムをさく乳器本体に追加でき、ママのその日の体調や気分などお好みに合わせて、快適なさく乳が出来ます。また、さく乳時間が自動的にアプリに記録され、さく乳した母乳の保存期限の管理や、赤ちゃんの成長記録なども併せて管理できます。

その他にも、さく乳口パッドを改良し、ママのおっぱいにやさしくフィットするエアクション構造を採用することで、おっぱいにやさしくフィットし、より一層心地よく、快適にさく乳が出来るようになりました。またさく乳口も改良し、従来品より透明度をアップさせ、さく乳中のおっぱいの様子が見やすくなりました。

多くのプレママ・ママが母乳育児をしたいと思っているにも関わらず、産後約8割のママが、母乳育児に悩みやトラブルを抱えています。ピジョンは一人でも多くのママが、母乳育児を楽しく続けることができるよう「さく乳器」を上手に取り入れることをご提案します。

※「母乳アシスト」はピジョン株式会社の登録商標(日本国内)です。

■ さく乳器によるさく乳の3つの流れ

さく乳器によるさく乳には3つのステップが必要です。①ママのおっぱいとぴったりフィットさせること②準備段階の弱い吸引刺激を与えて、母乳を乳管の出口に集めること③集まった母乳を負担なく効率よく出すこと。

今回のリニューアルはこの3つのポイントを改良し、さらに心地よいさく乳ができるようになりました。

さく乳3ステップ

フィット→準備→さく乳



■ 商品概要

商品名	母乳アシスト®電動 Pro Personal / 母乳アシスト®電動 Pro Personal+
税込価格	16,200 円 / 27,000 円
対象者	高性能電動さく乳器でおっぱいの状況に合わせて快適に効率よくさく乳したい方



＜商品特長＞

フィット

①おっぱいにやさしくフィットするさく乳口パッド

肌触りの良いクッション構造で、おっぱいにやさしくフィットし、より一層心地よさが向上し快適なさく乳が可能になりました。

準備

②おっぱいをやさしく刺激する「準備ステップ」

「準備ステップ」には赤ちゃんがママのおっぱいを吸い始めた時のやさしく速く、吸ったり休んだりするリズム(図1)を採用。母乳の分泌を促します。

さく乳

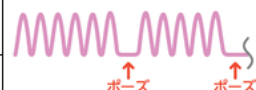
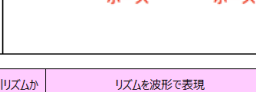
③しっかりおっぱいをとる「さく乳ステップ」

「準備ステップ」で母乳が出始めたら、その日の体調や気分に合わせて3つのモードのリズム(図2)や6段階の強さからママに合うものを選んでしっかりさく乳をします。

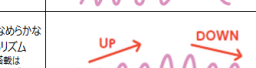
④専用アプリ「Pigeon Switch(ピジョン スイッチ)」と連動

「さく乳ステップ」の中の「カスタムモード」ではBluetooth®で「Pigeon Switch(ピジョン スイッチ)」と連動しアプリにある吸引リズム(図3)からママに合うリズムをさく乳器本体に転送できます。

(図1)

吸引の強さ	リズムを波形で表現
弱	
強	

(図2)

モード	どのような吸引リズムか	リズムを波形で表現
シンプル	一定のリズム	
ナチュラル	強さと速さの変化を交えた吸引リズム	
カスタム	吸引の強さになめらかな変化があるリズム ※購入時搭載は「強弱ミックス」のリズム	

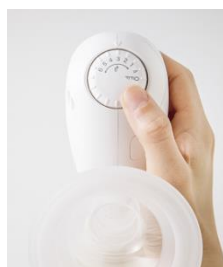
(図3)

専用アプリからカスタムモードに転送出来る吸引リズム	どのような吸引リズムか	リズムを波形で表現
快速シンプル	強くて速いしっかりとしたリズム	
リラックスシンプル	モーター音が静かなゆったりとしたリズム	
スピードミックス	時々速さが変わるリズム	

商品名	母乳アシスト®電動 Handy Fit
税込価格	9,504 円
対象者	シンプル・コンパクトな電動さく乳器で手軽に効率よくさく乳したい方／手動タイプでは手が疲れてしまう方

<商品特長>

- ①シンプルでコンパクトな電動タイプ。ダイヤルひとつで手軽で簡単に操作が出来ます。
- ②さく乳中でもママ自身が吸引の強さを調節しやすいようにダイヤル位置を変更しました。



使用中のダイヤル操作



商品名	母乳アシスト®手動
税込価格	4,860 円
対象者	手軽に、そして手動で自分にあった強さと速さに調節しながらさく乳したい方

<商品特長>

握りやすく、手や腕の筋肉への負担を軽減するため、「エルゴノミクス（人間工学）ハンドル」を採用。ママがお好みの疲れにくい持ち方が出来るようにハンドルの角度を調整可能に改良しました。千葉大学 下村義弘教授の監修の下で実施した実験では、従来品よりも手と腕の筋肉の負担が軽減されている結果が出ました。



実験の様子



ハンドルを左側（青色範囲）に動かすと最も疲れにくいという結果に（右手の場合。左手は逆になります）



従来品と比べて、手や腕の筋肉の負担が軽減する結果に



- ※20～30代の女性9名、さく乳動作タスク時の右上肢筋電位測定値に基づく値。
- ※ハンドルの角度は、手と腕の全体の筋活動が最小になる角度の推定値を示す。
- ※新製品の筋活動（%MVE）は、上記のハンドル角度での筋活動推定値を示す。
- ※千葉大学 下村義弘 教授監修のもと、ビジョン調べ。
- ※最適なハンドル位置には、個人差があります。

※ 計4商品共通

- 発売日：2018年8月20日（月）
- 販売先：全国の育児用品専門店、オンラインストア、ドラッグストア、百貨店など

「母乳アシスト®」シリーズブランドサイト <https://pigeon.info/breastpump/>

■新しい専用アプリ「Pigeon Switch(ピジョン スイッチ)」



Bluetooth®を使って新たな吸引リズムをさく乳器本体に転送できるほか、赤ちゃんのお世話で1日があつという間に過ぎてしまうような忙しいママをサポートしてあげられるよう、授乳・さく乳などの記録管理、赤ちゃんの成長記録管理もできるアプリです。

<「Pigeon Switch(ピジョン スイッチ)」概要>

アプリ名	Pigeon Switch (ピジョン スイッチ)
利用対象	母乳アシスト®電動 Pro Personal／母乳アシスト®電動 Pro Personal+
配信開始日	2018年8月1日(水) ※提供元により異なる
料 金	無料
対応 OS	Android : 4.4 以上／iOS : 10.0 以上
提供元	Google Play(2018年8月1日より)、App Store(2018年8月上旬より順次公開)
URL	https://pigeon-switch.com/

<Pigeon Switch(ピジョン スイッチ)で出来ること>

※配信後も機能拡張予定

- ①Bluetooth®で「母乳アシスト®電動 Pro Personal／母乳アシスト®電動 Pro Personal+」と連動し、さく乳器をリモートコントロール
- ②さく乳器本体のさく乳ステップの「カスタムモード」へ追加したいリズムをワンタッチ転送
- ③色々なデータを簡単に記録
成長記録(赤ちゃんの体重・身長)、赤ちゃん写真、さく乳記録、おっぱい/母乳びん授乳記録
- ④ピジョンの母乳育児情報サイト「ぼにゅ育」の母乳育児に関する記事が日々更新されて表示
- ⑤次の授乳、さく乳時間を知らせる通知(リマインダー)設定が可能



※「Bluetooth®」のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Pigeon Corporation はこれらの商標を使用する許可を受けています。



母乳アシスト®電動 Pro Personal のリモートコントロールがスマートフォンからアプリを使って可能



さく乳ステップの「カスタムモード」へ、自分に合う吸引リズムを転送



さく乳やおっぱい授乳記録等が可能



■さく乳器の必要性

プレママ・ママの母乳育児に関する関心は高く、約 75%の方が「母乳育児をしたい」と考えており（P.6①参照）、プレママ期には母乳育児に対してポジティブなイメージを持たれている方も多くいらっしゃいます（P.6②参照）。しかし、実際には育児が始まると、多くのママが赤ちゃん・ママ双方の様々な事情によるお困りごとを抱えています（P.7③下段参照）。

母乳育児をしていく上で、特に産後初めのうちは時間をあまりあけずに何度も赤ちゃんに直接おっぱいを吸ってもらい、刺激を与えることで母乳の分泌を促すことが大切です。しかしながら、赤ちゃんへの直接授乳が叶わない時や、ママも赤ちゃんも手探りの状態で授乳がうまくいかないときには、直接吸ってもらう代わりにさく乳が必要になることもあります。また、早期復職時やママのお出かけ時など、ママが不在のときにも赤ちゃんに母乳をあげたいと思うママもいます。あらゆるお困りごとやニーズを抱えたママが、少しでも心に余裕を持ち、授乳期の幸せを感じることが出来るよう、ピジョンはさく乳器を母乳育児の中に上手に取り入れていくことをご提案します。

■母乳育児に詳しい よしかた産婦人科 副院長 善方 裕美 先生

生まれたての赤ちゃんはまず初めに「泣く」ことで肺を膨らませて自分で呼吸できるようになります。その次に、ママのおっぱいをくわえて、誰に教わるわけでもなく上手におっぱいを吸い始めます。生まれたばかりの赤ちゃんが、とても力強くおっぱいを吸うと、ママをはじめ、近くで見ているパパやおばあちゃんはビックリしますが、この小さな命が本能的に乳頭を吸うことが刺激となって、ママの脳下垂体から乳腺を作るプロラクチン、乳汁を分泌させるオキシトシンが出てきます。赤ちゃんの強い生命力を感じるこの行動は、生まれてすぐ、30分もしないうちに出来てしまうのです。

この神秘的な母乳育児のスタートから、「泣いたらおっぱいを吸わせる」ということを繰り返し行うことで、おおよそ1ヶ月かけてママと赤ちゃんの母乳分泌ホルモンサイクルが整っていきます。実は、この初めの1ヶ月がとても根気のいる、言わば母乳育児の修行期間。頻回の授乳で、ママの乳頭は傷つきやすくなり、切れて強い痛みが持続すると、せっかく母乳分泌が増えてきても、直接赤ちゃんに乳頭をくわえさせることができません。そこで、ママを助けてくれるのが『搾乳器』です。搾乳器でやさしくゆっくりと母乳を搾乳することで、ママの乳頭を休ませてあげられます。搾乳した母乳はスプーンや瓶のふちを使って赤ちゃんに与えることができます。

1ヶ月目以降は、ママと赤ちゃんの行動範囲が広がり、一緒にお出かけして、外出先でもおっぱいをあげるようになります。しかし、ママの外出等で、パパやご家族に赤ちゃんを預けると、赤ちゃんがママと離れ離れにならざるを得ません。このような時も『搾乳器』はママのお助けになります。出かける前に搾乳して冷蔵庫等で保存しておけば赤ちゃんはすぐにおっぱいを飲むことができますし、ママは外出先でおっぱいが張ってきたら授乳室などで搾乳すれば楽になります。ママが仕事復帰すると、赤ちゃんを預かってくれる場所によっては、搾乳した母乳を与えてくれる場合もあります。

赤ちゃん和妈妈の顔がみんな違うように、赤ちゃんの口の大きさ、ママの乳頭の形等、みんなそれぞれ違います。また、一気にたくさん飲む赤ちゃんもいれば、少しずつ何度も飲む赤ちゃんもいます。母乳育児は実に千差万別、十人十色です。

ですから、様々な場面で母乳育児のお助けになる『搾乳器』は、ママと赤ちゃんのタイプに合わせて、楽に使用できるものをお勧めします。

<プロフィール>

善方 裕美（よしかた ひろみ）先生

よしかた産婦人科 副院長

横浜市立大学附属病院 女性健康外来、成人病予防外来担当非常勤医師

【所属学会・資格など】

- ・日本産婦人科学会専門医 ・女性ヘルスケア専門医 ・日本骨粗しょう症学会認定医
- ・新生児蘇生法（NCPR）インストラクター ・マンモグラフィ読影認定医



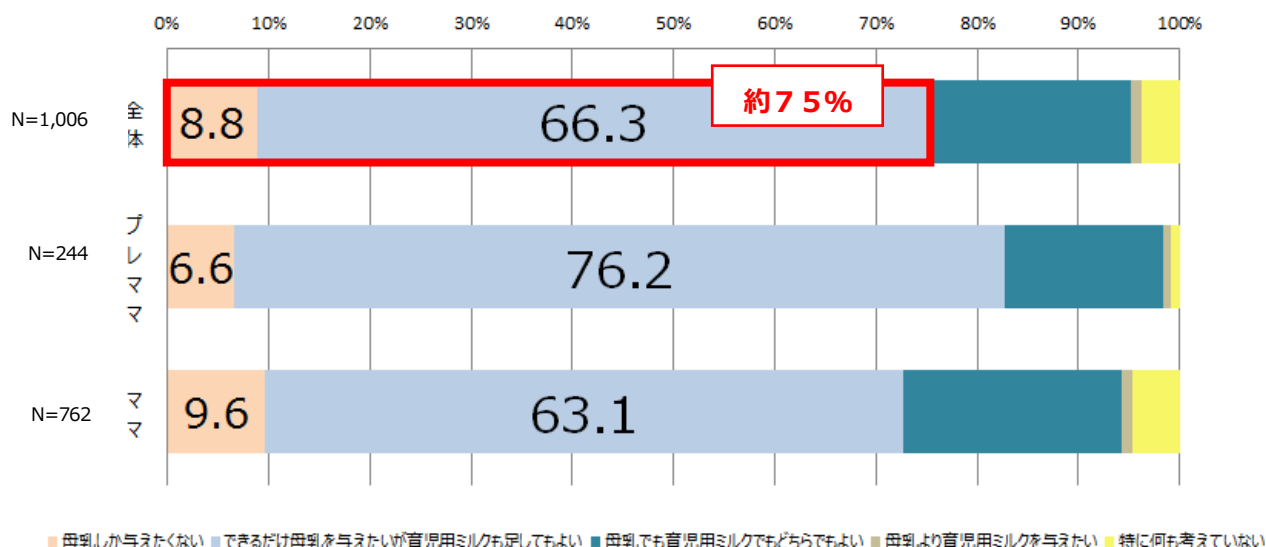
<参考資料>

■ 母乳育児に関するデータ

※2018年6月 ピジョン調べ

① プレママ・ママの母乳育児に対する意識

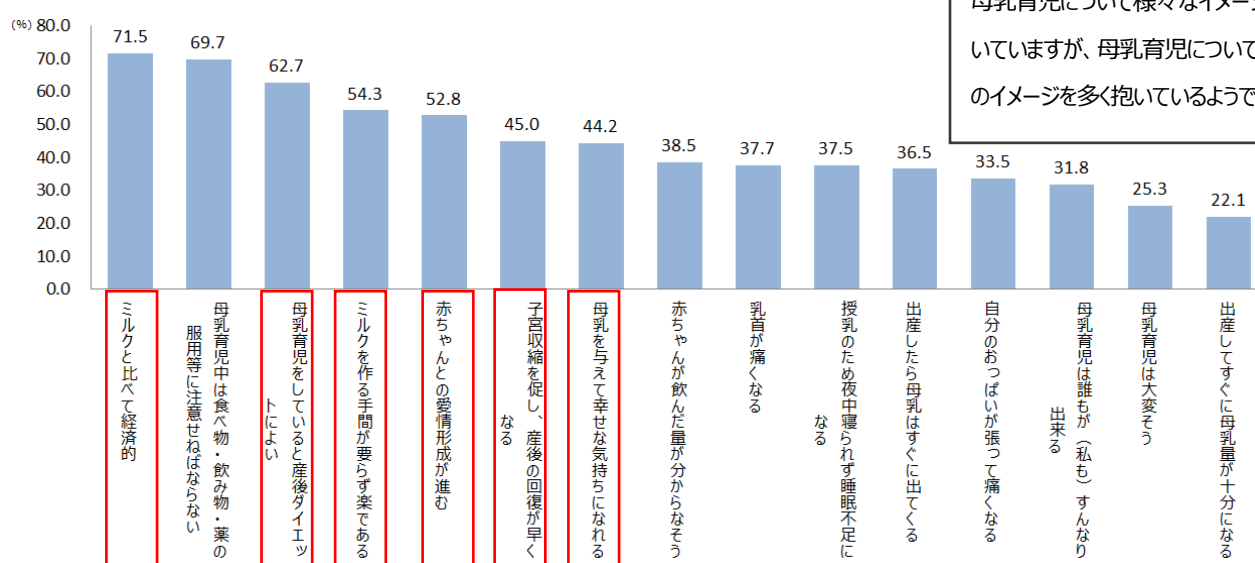
■ Q. 母乳育児についてどのような考えをお持ちですか？ (SA)



産前・産後に関わらず、母乳育児に関する関心は高いと言えます。

② 出産前の母乳育児に対するイメージ

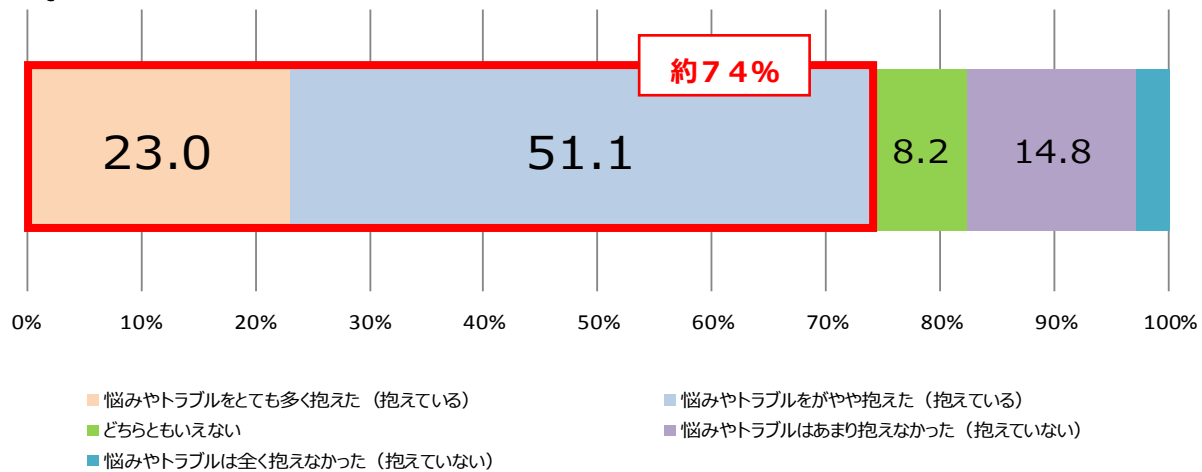
■ Q. 出産前に抱いていた（妊娠中の方は現在抱えている）母乳育児に対するイメージは？ (MA/N=1,006)



母乳育児について様々なイメージを抱いていますが、母乳育児についてプラスのイメージを多く抱いているようです。

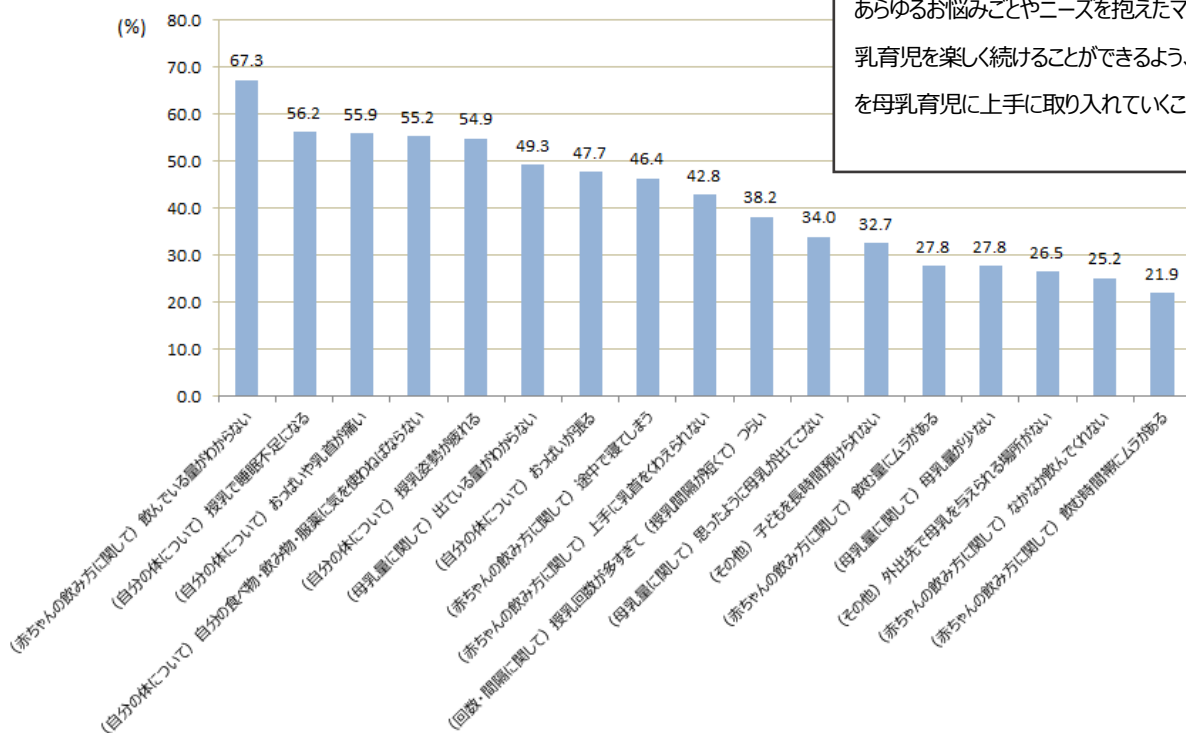
③ 出産後の母乳育児について

■ Q. 出産後ご自身の母乳育児についてどの程度「悩み」「トラブル」を抱えましたか (SA/N=413)



約 7 割のママが産後の母乳育児に悩みやトラブルを抱えた経験があることがわかります。

■ 母乳育児に関する「悩み」「トラブル」は何でしたか？ (MA/N=306)



ママが抱える母乳育児の悩みは「赤ちゃんが飲んでいる量が分からない」のほか、自分の体に関する悩みが多い傾向にあります。また悩み事が多種多様であることもわかります。あらゆるお悩みごとやニーズを抱えたママが、1人でも多く母乳育児を楽しみ続けることができるよう、ピジョンは「さく乳器」を母乳育児に上手に取り入れていくことをご提案します。